

地球温暖化防止実行計画に係る取組結果について(令和3年度)

第3次安曇野市地球温暖化防止実行計画を、市の事務・事業における温室効果ガス排出量の削減の取り組みとして、令和3年3月に策定しました(計画終期:令和12年度)。本計画での削減目標は二酸化炭素排出量を前年度比1.0%以上の低減としています。

この度、令和3年度の取組結果がとりまとめられましたので、報告します。

二酸化炭素総排出量は前年度と比較して、約0.07%(12,734kg)減少という結果になりました。

なお、この結果について、影響のあった要因は以下のとおりと考えられます。

・増加要因

- ①新規施設の追加
- ②新型コロナウイルス感染症予防のための換気機会の増加や使用部屋の増加
- ③新型コロナウイルス感染症の行動制限緩和に伴う施設使用機会の増加

・減少要因

- ①本庁舎の購入電力を低炭素電力(排出係数 0.0)に変更
- ②公用車の削減やリモート会議の増加によるガソリン使用量の減少

全体を比較した結果、温室効果ガス総排出量は、削減目標としている前年度比1.0%以上の低減を達成することができませんでした。

施設全体の温室効果ガス排出量は減少しましたが、本庁舎の購入電力を低炭素電力(排出係数 0.0)に変更したため、施設使用機会の増加などにより電気使用量、灯油使用量は目標を達成できませんでした。小・中学校では、エアコンの使用機会の増加(令和2年度教室へのエアコン設置)、電子黒板、GIGAスクールの端末機器充電により、電気使用量が増加しました。

今後も新型コロナウイルス感染症の感染拡大が懸念されるため、換気などの感染症予防の徹底と省エネとを両立した取組が求められます。ガソリン使用量については削減目標を達成していますが、業務における公用車の使用の見直しが必要です。

エネルギー種別	令和3年度			令和2年度	
	使用量 ①	係数 ②	CO2排出量 (kg) (①×②) ③ (全体に占める割合)	CO2排出量 (kg) ④	R2 年度比 (③÷④) ⑤
電気	27,727,237 kwh	0.513	13,504,803 (73.98%)	13,605,468	△ 0.74%
灯油	1,159,836 ℓ	2.492	2,890,231 (15.83%)	2,813,794	2.72%
LPG	116,410 m ³	6.214	723,376 (3.96%)	716,634	0.94%
重油	274,037 ℓ	2.710	742,538 (4.07%)	729,297	1.82%
ガソリン	103,933 ℓ	2.322	241,297 (1.32%)	254,642	△ 5.24%
軽油	58,016 ℓ	2.624	152,254 (0.83%)	147,398	3.29%
合計			18,254,499 (100.00%)	18,267,233	△ 0.07%

※経年比較のため、係数はエコアクション21導入時と同様の数値を用いて算出しています。

※係数等の表示単位未満の四捨五入により、計算が合わない場合があります。

※令和3年度から本庁舎の購入電力を低炭素電力(排出係数0.0)に変更したため、令和3年度の本庁舎の電気の使用による温室効果ガス排出量は0として算出しています。